

令和7年度

中小企業技術者研修

金属材料技術研修 受講案内

期 間 令和7年10月～12月

〈特 色〉

1. 本研修は、金属材料を利用する立場(設計や加工など)にある若手技術者を対象とし、金属材料技術に関わる基本的事項を扱います。
2. 金属材料を利用する上で必要な知識を、実用金属の基本的性質や用途についての講義および材料試験と組織観察の実習を通じて習得していただけます。
3. 実習では、一人一人に指導が行き届くように配慮し、講義と実習が互いに理解を深め合う内容となっています。

主 催 名古屋市・(公財)名古屋産業振興公社

申込はこちら



https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/lecture.html

《募 集 要 項》

- 研修期間と時間 令和 7 年 10 月 23 日～12 月 4 日 毎週木曜日
9 時 30 分～16 時 30 分(昼 1 時間休憩)
講義・実習 計 42 時間
- 研 修 会 場 名古屋市工業研究所 名古屋市熱田区六番三丁目 4-41
- 募 集 人 員 定員 10 名
- 受 講 料 60,500 円(税込)
- 修 了 証 書 所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より、修了証書
が交付されます。
- 申 込 方 法 https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/gikenshu.doc からダウンロード
した申込書フォーム(Word 文書)に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電
子メール添付のいずれかにより下記までお申込みください。(数日経過しても当
方より連絡がない場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いいたします。)
本研修の目的に合うと認められる中小企業者からのお申込みは、先着順に受
講決定のご連絡をいたします。
※大企業からのお申込みについては、中小企業者からの受付状況をふまえ、
順次受講の可否のご連絡をいたします。また、定員に達したときは、締切日を
早めることがありますのでご了承ください。
※中小企業基本法に定める中小企業に該当しない企業を大企業とします。
- 申 込 先 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目 4-41 名古屋市工業研究所内
公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
電話<052>654-1653 FAX<052>661-0158 E-mail:kenshu@nipc.or.jp
- 募 集 締 切 日 令和 7 年 10 月 9 日(木) 17 時必着
- 受 講 料 の 納 入 受講料の請求書をお送りしますので、開講日前日までにお振込み
をご予定ください。
- そ の 他 ・納入された受講料の払戻しはいたしません。
・講義日程等は変更することがあります。
・研修中の事故については、一切責任を負いません。
・本研修を受講された受講者の事業主に対して、要件を満たす
場合、「人材開発支援助成金」制度の利用ができます。

助成金制度の詳細やお問合わせ先
厚生労働省愛知労働局 あいち雇用助成室
TEL 052-688-5758

《研修科目と講師》

月日	時間	科 目	講 師	主な内容
10/23 (木)	3	金属材料入門	豊臣熱処理工業(株) 橋井 光弥	金属材料の入門的な講習です。他の科目を受講する上で必要な共通知識を学習します。
	3	鉄鋼材料	名古屋市工業研究所 職 員	炭素鋼や合金鋼など鉄鋼材料全般の基本的性質、特性、用途などについて解説します。
10/30 (木)	3	非鉄金属材料	名古屋市工業研究所 職 員	アルミニウム合金、銅合金の種類、特性、用途について解説します。
	3	鋼の熱処理-表面改質を中心に-	豊田工業大学 奥宮 正洋	浸炭、窒化、高周波焼入れなど、表面改質を中心に鋼の熱処理の基礎について解説します。
11/6 (木)	3	金属材料分析	名古屋市工業研究所 職 員	各種分析方法の特長と装置の選択について解説します。分析を依頼する際の留意点についても説明します。
	3	機器分析(実習)	名古屋市工業研究所 職 員	走査電子顕微鏡内で元素分析を行うEDX分析と結晶の配向などを観察できるEBSD分析や、定性・定量分析ができる蛍光X線分析の実習を行います。
11/13 (木)	3	材料試験	名古屋市工業研究所 職 員	材料試験の考え方を解説し、金属組織試験・引張試験・硬さ試験・衝撃試験・疲労試験などについて紹介します。
	3	機械的性質(実習)	名古屋市工業研究所 職 員	引張試験とシャルピー衝撃試験の実習を行います。鋼の熱処理と機械的性質との関連を検討します。
11/20 (木)	3	組織試験1(実習)	名古屋市工業研究所 職 員	鋼のマクロ・ミクロ組織試験法習得のため、試料調整から組織観察までの一連の操作方法の実習を行います。
	3	非破壊検査(実習)	名古屋市工業研究所 職 員	物を壊さずに、その内部や表面のきずなどを調べることができる非破壊検査のうち、探傷試験とX線CTについて実習を行います。

月日	時間	科 目	講 師	主な内容
11/27 (木)	3	組織試験2(実習)	名古屋市工業研究所 職 員	鋼の熱処理によるミクロ組織の変化について実習を行います。
	3	硬さ試験(実習)	名古屋市工業研究所 職 員	ロックウェル、ビッカース、マイクロビッカース硬度計の操作・測定方法を実習します。
12/4 (木)	3	金属の破壊と破面	名古屋市工業研究所 職 員	金属破面の特徴、破損事例紹介、破損原因調査と対策について解説します。
	3	破面観察(実習)	名古屋市工業研究所 職 員	走査電子顕微鏡およびマイクロスコプを使用して、金属材料の破面を観察する実習を行います。

社 名	(ふりがな)	代表取締役 ないしは それに準ずる 者	
本 社 所在地	〒		
	TEL ()	—	FAX () —
資本金		万円	従業員数
業 種 (下記一覧より記載)		主要製品	名

受 講 者			
氏 名	(ふりがな)	所属・役職	
勤 務 地	〒		
連 絡 先	TEL ()	—	FAX () —
	E-mail:		
担当業務			
本研修で学 びたい事	受講の目的や今回特に学びたい事等ご記入ください。		

連絡責任者			
氏 名	(ふりがな)	所属・役職	
請 求 書 送 付 先	〒		
連 絡 先	TEL ()	—	FAX () —
	E-mail:		
この研修を何 でお知りにな りましたか？			

(業種分類一覧)

0001	食料品製造業	0012	なめし革・同製品・毛皮製造業	0023	輸送用機械器具製造業	0034	学術研究, 専門・技術サービス業
0002	飲料・たばこ・飼料製造業	0013	窯業・土石製品製造業	0024	その他製造業	0035	宿泊業, 飲食サービス業
0003	繊維工業	0014	鉄鋼業	0025	農・林・水産業	0036	生活関連サービス業, 娯楽業
0004	木材・木製品製造業(家具を除く)	0015	非鉄金属製造業	0026	鉱業	0037	教育, 学習支援業
0005	家具・装備品製造業	0016	金属製品製造業	0027	建設業	0038	医療, 福祉
0006	パルプ・紙・紙加工品製造業	0017	はん用機械器具製造業	0028	電気・ガス・熱供給・水道業	0039	複合サービス事業
0007	印刷・同関連業	0018	生産用機械器具製造業	0029	情報通信業	0040	サービス業(他に分類されないもの)
0008	化学工業	0019	業務用機械器具製造業	0030	運輸業	0041	公務(他に分類されるものを除く)
0009	石油製品・石炭製品製造業	0020	電子部品・デバイス・電子回路製造業	0031	卸売・小売業	0042	分類不能の産業
0010	プラスチック製品製造業	0021	電気機械器具製造業	0032	金融・保険業		
0011	ゴム製品製造業	0022	情報通信機械器具製造業	0033	不動産業・物品賃貸		

※申込書受領後、e-mail、もしくはお電話にて確認の連絡をいたします。連絡がない場合は、お手数ですが
(公財)名古屋産業振興公社 **052-654-1653** までご連絡ください。

※ご記入いただきました個人情報、受講者または連絡責任者への連絡や、名古屋市工業研究所及び当社が
開催する研修の案内など、研修の円滑な運営に必要な範囲内に限り、使用させていただきます。

※暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。